

電波時計 取扱説明書 (掛時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元

リズム株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

アフターサービスについて

この時計のアフター サービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが 受けられない場合は、当社総合サポートにてお問い合わせください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

リズム総合サポート

https://rhythm.jp/support/

商品照会の際は、製品裏面または底面に表示してある製品番号(型番)をご確認ください。
例. 4MY○○○、4MYA○○、8MY○○○、8MYA○○

お客様相談室:0120-557-005 受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

(Y2405)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

必ず守ってください。

図記号の説明

⓪は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

①は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠ 警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容



誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。



梱包用のポリ袋をかぶらない
窒息する恐れがあります。



電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない



電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。



- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社総合サポートにてお問い合わせください。

⚠ 注意

傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容



電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。



下記のような場所では使わない
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。



強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。



- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器からの風が当たる所。
- 温度が－10℃以下または＋50℃以上の所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を生じさせる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質することがあります。



浴室やサウナ、温室など、高温・高温になる所では使わない
さびや故障の原因になります。



ぬれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。



分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(－)を間違えない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

■電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の電池は、形状的に本製品には不向きなものがあります。
(例:Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池) ※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

■電池の寿命について

- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなることがあります。
- 買い置き の電池は、保管状態や電池の使用推奨期限により、電池寿命が短くなることがあります。

電池・時計の廃棄

- お住まい地区自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。

必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

※品名・型番

※保証期間 お買い上げ 年 月 日より 1年間

お客様

ご氏名

様

ご住所

TEL()

—

※販売店印(住所、店名、電話番号)

※印は販売店記入

- ネット通販をご利用の場合は、領収書やレシートなど、購入日が確認できる記録を添付してください。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報、修理・調整に関するご連絡にのみ利用させていただきます。

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について

※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化。(製品の小さキズや汚れなど)
8. 電池の交換

電波時計について

スリーウェイとは

日本標準電波の40／60kHzにAMラジオ放送(時報)を加えた3つの電波で、時計の時刻を正確に保つための仕組みです。

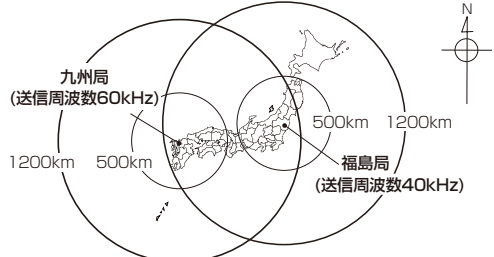
電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はかね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jiy.nict.go.jp)



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご利用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

標準電波が受信しにくい所

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- 地下、ビルの中、ビルの谷間
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

AMラジオ放送が受信しにくい所

- 窓のないデパートのフロア
- ビルの地下および地下街
- 大規模オフィスの窓から遠く離れた所
- 家電量販店などノイズが多い所

おもな製品仕様

使用温度範囲	－10℃～50℃	＊結露しないこと
時間精度	電波受信成功直後の表示精度	秒針 ±1秒 時針/分針 目盛りに対して±3度
	電波を受信しないとき	平均月差±20秒 (常温中のクォーツ精度)
推奨電池	表示用：単3形アルカリ乾電池	JIS規格LR6 6個
	内蔵：コイン形リチウム電池	CR2032 1個
電池寿命	表示用：約5年 (標準電波の受信に成功して、暗所秒針停止時間が7時間/日のとき)	
	内蔵：工場出荷時より5年以上(交換不要)	
標準電波受信局	標準電波を受信して時刻を修正	
受信回数	福島局/九州局 自動選択	
サーチ機能	最少1回/日、最多6回/日 2時、3時、4時、12時、13時、14時の16分20秒に開始	
AMラジオ放送	受信局、電波の強弱表示	
受信周波数帯	毎正時の時報放送を受信して時刻を修正	
受信時刻	518～1615kHz	
受信回数	0時、1時、2時、5時、6時、23時(時刻の約4分前から開始)	
受信期間	最少1回/日、最多6回/日	
受信機能ON/OFF	AMラジオ放送の受信を開始してから最長で約7日間	
手動時刻合わせ	スイッチ操作	
暗所秒針停止	ボタン操作	
電池の交換時期お知らせ機能	明暗センサーと連動して、暗くなると秒針を12時位置に停止	
防塵防滴機能	交換時期になると秒針が常時12時位置に停止	
	なし	

※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

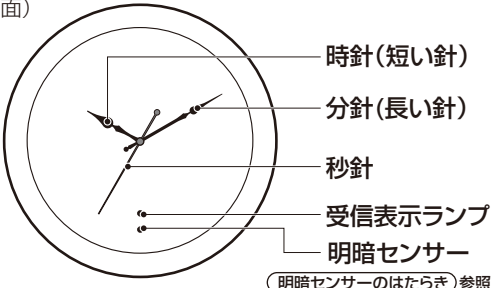
付属品 木ねじ 1個、 取付金具 1個、 くぎ 4個、 保証書 1枚

表示用電池は付属していません。単3形アルカリ乾電池を6個ご用意ください。

各部の名称と役割

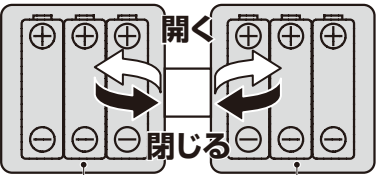
◎図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

(正面)



時計(短い針)
分針(長い針)
秒針
受信表示ランプ
明暗センサー
(明暗センサーのはたらき)参照

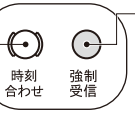
〈表示用電池の入れかた〉



電池は必ず6個入れてください。
時計裏面にある2つの電池ぶたを取り外して、電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れて電池ぶたを取り付けてください。

⚠ **注意** 電池の⊕⊖を逆に入れると電池の発熱・破裂・液漏れの原因になります。

(裏面操作部)



強制受信ボタン
電池を入れたとき、設置場所を変えたとき、誤受信したときに使用します。

時刻合わせボタン
不用意に押すと時刻が変わります。標準電波、AMラジオ放送の受信ができないときや任意の時刻に手動で時刻を合わせるときに使います。

電波受信スイッチ
ON : 電波を受信して時刻を修正
OFF : 電波を受信しません

内蔵電池

ⓧ **DX**
お客様が交換する必要はありませんので、開けないでください。

標準電波—AMラジオ放送 受信の流れと受信表示ランプの見かた

受信の進行状態や受信結果は受信表示ランプで確認することができます。

時間の流れ

↓

①表示用電池を入れて、強制受信ボタンを押す
およそ1秒間受信表示ランプが点灯して、12、4、8時のいずれかに一時停止してから、保持している時刻に針が早送りで移動を開始します
4回点滅：福島局選択 6回点滅：九州局選択 消灯：福島・九州局ともに電波弱

②時刻情報の読み取り中 最長で15分程度……標準電波サーチ機能 受信表示ランプで状態表示
▶点灯：電波良好 ▶消灯：電波の状態が悪い ▶ときどき点灯 電波状態が不安定(受信できる可能性大) (受信できない) (受信できない可能性大)

③標準電波の受信結果を表示
2秒に1回点滅：標準電波の受信成功 必要に応じて表示時刻を自動修正する。
10秒に1回点滅：標準電波の受信失敗→AMラジオ放送の受信モードになる。

④標準電波・AMラジオ放送の受信結果を表示
2秒に1回点滅：標準電波の受信に成功。
5秒に1回点滅：AMラジオ放送の受信に成功。
10秒に1回点滅：標準電波受信失敗、AMラジオ放送の受信を継続中
消灯：標準電波、AMラジオ放送とも受信できない。

- *AMラジオ放送の受信は標準電波が受信できないときに行います。受信状態になってから連続7日間受信できないときは、AMラジオ放送の受信を停止します。
- *標準電波の受信に成功するとAMラジオ放送の受信は停止します。
- *強制受信ボタンを押すとAMラジオ放送の受信停止が解除されます。

AMラジオ放送について

- この説明書でのAMラジオ放送とは、AMラジオ放送で毎正時に流れる時報(ブツ、ブツ、ブツ、ポーン)のことです。放送局によっては、時報音が異なったり、時報を流さないことがあります。
- 受信しやすいAMラジオ放送局の順に受信を試みます。
- AMラジオ放送の受信回数は最少で1日1回、最多で1日6回です。
- 受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときには、場所を変えて強制受信ボタンを押してください。
- 受信に失敗している場合は、表示されている時刻は正確ではありません。
- AMラジオ放送の受信状態のときにも、標準電波の受信を試みます。

標準電波を受信できない場合

1. 標準電波、AMラジオ放送ともに受信できない……受信表示ランプ消灯
AMラジオ受信機で、設置した所でAMラジオ放送(推奨NHK第一放送)が明瞭に受信できるかを確かめてください。
明瞭に受信できる場合
強制受信ボタンを押して2〜3日後に受信結果を確認してください。
明瞭に受信できない場合
AMラジオ放送を明瞭に受信できる所に時計を設置しなおして、強制受信ボタンを押してください。AMラジオ放送を明瞭に受信できない所でお使いになるときは、手動で時刻を合わせてお使いください。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。
※正しい時刻に対して時計の時刻が4分以上の遅れまたは進んでいる場合は、AMラジオの時報放送を受信できません。
ベランダなど屋外で強制受信ボタンを押して標準電波の受信に成功させるか、ラジオや電話の時報サービスなどを利用して手動で時刻を合わせてください。
2. 標準電波が受信できない
受信表示ランプが5秒に1回点滅していれば、AMラジオ放送の受信に成功していますので、標準電波を受信できなくても正しい時刻を表示しています。

電波受信機能のON/OFF切り替え操作

- 誤受信しやすい所で使用する場合や意図的に時間をずらしてお使いになるときは、**電波受信スイッチ**をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。時間精度はクォーツ精度になります。
- ON : 標準電波の受信を行い、受信に成功すると時刻を自動修正します。
OFF : 標準電波を受信しない。時刻の遅れ進みは手動で修正してください。
- 電波受信スイッチをOFFからONにしたときには、必ず**強制受信ボタン**を押してください。
 - 電波受信スイッチがOFFのときに**強制受信ボタン**を押すと、ONのときと同様な状態になりますが、受信を行わないで時刻表示になります。必要に応じて、手動で時刻を合わせてください。
 - 受信表示ランプが2秒に1回点滅しているときにOFFにすると、受信表示ランプが24〜25時間点滅することがあります。

標準電波、AMラジオ放送とも受信できないときは、手動で時刻を修正してご使用ください。

手動での時刻合わせ…電波を受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

- ※時刻合わせボタンを離しているのに、針が早送りで動いている場合は、通常の針の動きになってから操作をしてください。
- ※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を修正します。
☞『**電波受信機能のON/OFF切り替え操作**』参照。

- 操作** ○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。
○時刻合わせボタンを押し続けると早送ります。
- 秒針の動きについて**
時刻合わせボタンが押されると秒針は停止します。
時刻合わせボタンを離れたときにゼロ秒に設定され、時間が経過して、秒針が指している時刻になると秒針が動き出します。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときは**強制受信**を押してください。

ご使用の手順 はじめてお使いになるときは、ここからお読みください。

AMラジオ(推奨NHKの第一放送)がよく受信できる所に掛けてご使用ください。

この時計は、時刻を合わせて出荷しております。

電池を入れてから強制受信ボタンを押して、そのまま掛けてお使いください。

強制受信ボタンを押してから8分以内に時刻を表示します。

〈表示用電池の入れかた〉および 〈時計の掛けかた〉参照

※時刻合わせボタンを押さないでください。押すと時刻が変わってしまいます。

※時刻を表示する前に、12時、4時、8時のいずれかに一時停止します。

- この時計は正しい時刻に合わせるために次のことを行っています。
- ①福島局または九州局から送信されている標準電波の受信を試みます。
 - ②①が失敗したときには、AMラジオ放送(時報)の受信を試みます。
- 受信結果は、受信表示ランプで確認することができます。
- 強制受信ボタンを押して、15分以上経過してから確認してください。
- 2秒に1回点滅：標準電波の受信に成功。……………正しい時刻を表示
5秒に1回点滅：AMラジオ放送の受信に成功。………正しい時刻を表示
10秒に1回点滅：標準電波受信失敗、AMラジオ放送の受信を継続中。
- 消灯：標準電波、AMラジオ放送ともに受信できない。
- 標準電波—AMラジオ放送 受信の流れと受信表示ランプの見かた** 参照

時計の掛けかた

⚠ **注意** 掛けかたが不適切な場合、落下する危険があります。

- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。
- 掛け部以外のところに掛け具を掛けしないでください。

■ 木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

時計裏面
壁掛け部

17mm

木質の厚い壁面
木の柱または壁面

掛けかた

良い例
引っかかっている

悪い例
引っかかっていない

■ 石こうボードの壁面の場合

付属の取付金具を使用できる場所は、石こうボードの壁面です。

- 壁の材質、取り付け方法を確認の上ご使用ください。
- 付属する取付金具のタイプに応じた取り付けをしてください。
- 取付金具は水平に取り付けてください。傾けて取り付けると時計が傾きます。
- 取付金具には、3.5kg以上のものは掛けないでください。

取り付け方法

取付金具 タイプA
金具を水平にして①②の順序でクギを押し込む。

クギ

取付金具の穴に対して、垂直に押し込む

取付金具 タイプB
クギ

取付金具の穴に対して、垂直に押し込む

■ その他の壁面の場合

コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

電池の交換時期お知らせ機能

表示用電池の交換が必要になると、**明るい所で秒針が12時位置で停止します**。時計および分針はこのような状態になってから約1ヵ月間[※]時刻を表示し続けますが、お早めに電池を交換してください。
[※]ご使用状態により、この期間は前後します。

⚠ **注意** 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

- 電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。
- 時計が停止したときは、速やかに新品の電池に交換するか、電池を取り出す。
 - 時計が動いていても5年に1回定期的に交換する。
 - 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。

使用する電池の条件

- 電池を長期間使用しますので次のことをお守りください。
- 条件を満たさない電池を使用すると、電池からの液漏れにより時計や壁面などに損傷を与えることがあります。また、製品仕様より電池寿命が短くなることがあります。
- ①電池に表示されている「使用推奨期限」が電池交換時より4年先以上
例. 2020年3月に交換 03-2024より先の「使用推奨期限」表示のある電池
 - ② 同じメーカー、同一種類、同一の「使用推奨期限」のもの
 - ③ 未使用の電池
 - ④ 単3形アルカリ乾電池
- 使用推奨期限の表示例 月一年

内蔵電池による時刻のバックアップ

この時計は、工場出荷時に電波を受信させ、内蔵電池により時を刻み続けています。
また、内蔵電池により受信を試み、受信に成功した場合、時刻を修正しています。
表示用電池を入れて強制受信ボタンを押すと8分以内に時刻を表示します。
表示用電池を取り外したり、電池切れのときには、内蔵電池に切り替わり時を刻み続けます。
※内蔵電池のみでは、時刻表示、受信表示ランプの点灯/点滅をしません。
※表示用電池により、時刻表示をしているときには内蔵電池を使いません。
※電波受信機能が「OFF」のときは受信を行いません。

明暗センサーのはたらき……暗くなると秒針停止、受信表示ランプ消灯

明暗センサーが暗いと判別した場合、受信表示ランプが消灯して秒針を12時位置で停止させます。昼間や照明器具により照明されているときでも、明るさが不足するとセンサーが働きます。
※受信中を除いて、明るい所で停止するときには、『**電池の交換時期お知らせ機能**』参照。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。